

外国につながる子どもたちのことばの学びを育むための

ともに学ぶ サポーター養成講座

学校が始まる前に
何かできないかしら？

上手に読めるね！でも、
書いてあることわかってないみたい!!

友だちと仲良く遊んでいるから
問題ない!?

教材をどうしたらいいの？



8月5日(日) 幸市民館(川崎) 第1会議室	就学前後の支援をつなぐ ～日本生まれの子や幼児期に来日した子～ 東洋大学 内田千春
9月8日(土) 幸市民館(川崎) 第1会議室	授業参加に向けての日本語指導 ～小学生の課題～ 東京学芸大学 菅原雅枝
10月14日(日) 幸市民館(川崎) 第1会議室	教科学習がわかる日本語指導 ～中学生の課題～ とよなかJSL 田中薫
11月18日(日) 中原市民館(川崎) 第1会議室	中・長期の日本語指導 ～具体的な指導計画と教材づくり～ 豊橋市教育委員会 築樋(つきひ) 博子
12月9日(日) 中原市民館(川崎) 第1会議室	学校・地域・他機関との協力体制づくり ～支援者としてできること～ 東京学芸大学 齋藤ひろみ

時間: 13:30-16:00 定員: 30名 資料費: 500円(全講義分)

対象者: 外国につながる児童・生徒や市民への日本語学習支援に関心のある方・希望者、保育者、教職員、日本語指導支援者など

申込み・問合せ: **問い合わせは電話で、申し込みはメールでご連絡ください。**

電話 080-8434-2008(東條) / E-mail :support0731@luck.ocn.ne.jp

※お名前・ご連絡先・受講される希望日をお伝えください。

サポーター養成講座の内容



★昨年度の要望を受け、より具体的で実践的な内容を目指しています。また、未経験者の方や興味があって参加された方も、グループで課題を共有する機会を設け、具体的な課題がより実感できるようにしました。

★連続講座なのでなるべく今回ご参加いただきたいのですが、一部の講座のみの申し込みでも受け付けます。

▼幸市民館アクセス

J R南武線「川崎駅」、または
J R南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」から川崎市バスで
「幸区役所入口」下車徒歩5分
(川崎から10分、小杉から30分)



＜各講座の紹介＞

第1回は、最近注目されている「保護者の母語が日本語でない」日本生まれの子どもや幼児期に来日した子どもに対して、保育者や支援者、教育者が配慮すべきことは何かを考えます。就学前の支援としてのプレスクールの実践から見てきた課題なども共有し、すでに就学している子への今後の支援についても考えていきましょう。

第2回は、日本語での授業参加が難しい子どもたちが、どんな心境で、学校や地域において過ごしているのか、小学生を中心にみていきます。母語ではない言語での授業も実体験し、複言語、複文化環境下にいる子どもたちへの日本語指導や教科学習の支援のあり方を、子どもの気持ちに寄り添いながら、具体的に考えていきましょう。

第3回は、教科の内容が抽象的になり、一定の指導や支援を受けても、教科の学習についていけないような小学校高学年から中学生の課題について考えます。どこに問題があり、どのように学力をはかり、どう改善すべきか、「学びなおし」の観点や進学のことなど様々な悩みに対して、『学習力を育てる日本語指導』の著者である先生から、実践的なアドバイスをいただきます。

第4回は、豊橋市での精力的な活動を結集したサイト「こどもの日本語ライブラリ」の先生とともに、目の前の課題をこなすことでいっばいで、見失いがちな中・長期的な日本語指導について考えます。子どもの指導の目安となる指導計画例からビデオライブラリやワークシートなど、様々な教材やリソースを検討し、共有しましょう。

第5回は、文化間移動をする子どもたち一人ひとりのライフコースに沿った日本語学習の場のつくり方と、支援者同士の協力体制について検討します。様々な課題を整理し、それを解決し、実現するための支援設計のあり方や、日本語プログラムの内容と実施方法について、具体的な取り組みを共有し、支援者として各自ができることを考えていきましょう。

▼中原市民館アクセス

J R南武線・東急東横線
「武蔵小杉駅」下車徒歩5分

